

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

学校名	唐津市立大志小学校
1 前年度 評価結果の概要	・中間報告から最終報告にかけて、評価が向上した項目が4項目あった。来年度はさらに向上できるよう、適宜見直しと修正をしながら教育活動の充実に努めていきたい。 ・学校関係者からの評価については、参観等で直に教育活動を見られたり学校から発信している資料等で判断していただいた。次年度はさらに学校の公開と情報の発信に努めていきたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組は学校・家庭で連携して定着できていた。次年度はコロナウイルス感染症に係る取り扱いが変更されるものの、引き続き手洗い・うがい・換気等の感染対策を講じて学校生活の充実に努めたい。 ・職業講話や福祉体験、教育相談・特別支援教育に係るSC及びSSW等の外部機関の活用が功を奏した。次年度も引き続き、学校外の方も借りながら、教育活動の充実及び児童理解に努めていきたい。
2 学校教育目標	保護者や地域と共に創るひとりひとりの笑顔が輝く」大志小 ～ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生き抜く児童の育成～ 『た』くましい体 『い』たわりの心 『し』っかり勉強
3 本年度の重点目標	①学力向上 「大志の学びスタイル」にそった授業で主体的・対話的で深い学びを創る ②充実した生活 学校評価のPDCAサイクルと結びつけた各部の取組を活性化し、自己肯定感を育む集団作りや体力向上のための運動習慣作りを充実させる。 ③地域連携 地域人材を活用し、人や地域の良さを体感しかかわる力や豊かな心を育む

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ・「授業づくりのステップ1・2・3」「唐津市学びスタイル」をもとにした授業づくり	●「唐津市学びスタイルチェックシート」において教員の自己評価が、学校平均で3.5以上。	・全職員1回以上の授業を公開する。 ・「授業づくりのステップ1・2・3チェックシート」をアドバイスシートとして活用して授業を参観する。							まなび部
	○児童の活用や記述力を高める手立ての工夫	○学力調査等での活用問題や記述問題への解答率90%以上。	・「大志っ子ノート」の共通実践や算数科の活用・記述問題を指導する取組を設定する。							学力向上CO まなび部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自他を尊重することに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上。	・児童会の取組を核にした人権週間や道徳教育実践及び振り返りの実施。 ・道徳教育の授業づくりに関する校内研修等の実施(夏季休業中)。 ・自己肯定感を高める命の授業等の実施。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当 こころ部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上。 ○不登校対応について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上。	・「よいアンケート(毎月)」及び「Q-U」アンケートへの取組(年2回)。 ・いじめ対応及び「Q-U」アンケートの結果分析の研修(年2回)の実施。							生活指導担当 教育相談 こころ部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)が80%以上。	・地域人材を活用し、地域の良さや職業に関する講話を設定する。 ・各種体験活動では、児童に活動の見通しをもたせ、学びの振り返りを行う活動を仕組む。							
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」	①1日30分以上の運動やスポーツ、外遊びを行うことができている児童80%以上を目指す。 ②就寝時間が8時間以上の児童が80%以上を目指す。	・スポーツに関わる取組(スポーツチャレンジ)を設定し、委員会発表や校内表彰をすることで活動意欲を高める。 ・メディアに触れる時間のアンケートを取り、その結果を保護者に発信し、時間を減らす意識を高める。 ・起床から登校までに60分確保して生活習慣全体を改善できるよう「生活リズムカード」を活用した取組を実施。							からだ部
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○校務の整理や行事の精選に取り組み、業務の効率化を推進する。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○各部の会議の流れを確認する。 ○各学年で作成したワークシートなどの共有化を行う。 ○業務の効率化が図られたと感じる職員80%以上。							教頭 教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
○教員の専門性の向上	○研修会やグループ授業研を効果的に活用した、個に応じた指導・支援の手立ての充実	○特別支援教育に関する専門性が向上したと感じる教員が80%以上。	・特別支援教育に関する職員研修会を実施する。 ・個別の支援に係るケース会議の開催、アドバイザーの活用、連携機関による効果的支援の共有を図る。							特支コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------